

# 愛媛県立病院看護職員 研修新聞 第18巻 第3号





#### 目次

- 1. 合同研修報告
- 〇看護過程の展開 I (基礎編)
- Oマネジメント I・II O看護倫理 II
- 〇理論研修(中範囲理論) 〇セルフマネジメント
- 〇看護研究の基礎(第5回シリーズ)
- 〇新規採用リフレッシュ研修
- ○人材育成Ⅱファシリテーション
- 2. 「やってみた!ファシリテーション!」紹介
- 3. 研修シート 最終評価「研修の学びの成果」 編集後記

『研修新聞』は各病院HPからも見ることができます。過去の新聞も是非ご覧ください。









## 1. 合同研修報告~風景~

全グルー プにフ ントだき した。

### 看護過程の展開基礎I

講師:愛媛県医療技術大学

教授 松井美由紀氏

「患者が見える 看護が見える」看護の 専門職として・・講義の最後のコメント です。患者さんをどのようにとらえるか 病像・生活像・人間像 情報収集・アセ スメントの大切さを学びました。



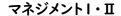


GWはパソコンを活用し、ディスカッション。発表します。





リーダーシップと マネジメントは両輪!



講師:NPO法人病院経営支援機構

アソシエト 山下まゆみ氏

経営学の父ドラッガーを知っていますか?講義の中ではドラッガーの言葉がちりばめられています。必須図書は漫画で分かる「ドラッガー」自分がリーダとしてどのように行動すればよいかをイメージできました。「変化をチャンスとみなすチェンジリーダーこそが、明日を変えることができる。P・Fドラッガー」SWOTクロス組織分析は難しかったですが、部署で是非チャレンジしてください。



1



ポスタービューイング中。自由に 見て回って「これいいね!意見」 にシールをはりました。

<u>看護倫理Ⅱ(意思決定支援)</u> 講師:がん看護専門看護師

武田千津氏

意思決定支援のプロセスを身に付けよう

「看護にとても影響のある研修でした。」「価値観を尊重することの難しさを学んだ。結果よりプロセス」「自分の考え、きっとこう思っているだろうばかりを考えすぎて声がけしている傾向があることに気づいた。今後の患者への関わりに役立つと思う。」アンケートの声。実践にどのように活かすのかイメージできました。

#### <u>理論研修 (中範囲理論)</u>

講師:NPO法人看護キャリア開発センター 代表 下山節子氏

多くの理論 (中範囲理論) を知ることができました。看護実践に理論を当てはめるのではなく、活かす事。理論を深く学習し、それを活用してのレポート作成に取り組みました。「半年間の期間で研修生全員が、見事に書き上げていました。皆さんの看護への感性が素晴らしい」と講師からの好評のコメント!「とっつきにくいかなと不安がありました。しかし受講して、看護の原点であることを学び、また実践の心強い裏付けになると知りました。」アンケートの声。看護は理論なのです、講義最後のメッセージです。



理論って難し い… レポート できるかな?

理論を活用し て自分の看護 実践をレポー トし、自信に なりましたね。







個人ワークあり、ペアワークあり 講師は画面から見守ってくれています。

#### セルフマネジメント

~怒りやストレスと上手につき合おう~

講師: KKハートセラピー

杉山 修氏

オンライン研修でしたが、対面研修のようにホワイトボードを活用し、昨年度よりバージョン UPし分かりやすい講義でした。「1日研修を終えこんなに心が温かくすがすがしい気持ちを感じたのは初めての経験です。すごく寄り添ってくれている感じがあり、内容は仕事にも私生活にも役立ちそうです。」アンケートの声。お互いを認め合い承認する大切さと「自己承認」する大切さ。セルフラブ=自分が最高のパートナー 自分を愛することで「免疫力」があがる! 令和5年度は是非、対面研修をと思います。







### 看護研究の基礎(5回シリーズ)

講師:愛媛県医療技術大学 教授 野本百合子氏

6月~11月まで5回シリーズで行いました。第5回目は初集合で看護研究計画書発表会。緊張していましたが、堂々と自身の研究課題と看護研究計画を発表できていました。またほぼ全員の研修生が質疑応答に参加し、有意義なディスカッションとなっていました。「日々の看護で自分の興味のあること、疑問が明らかになる有意義な研修だった。自分の考えを文章に起こす事や人に思いを伝える事の難しさが実感できた」「研究への理解が深まった」「自分の研究をもう一度自分に問いかけ、これでよいか内容を確認していく必要があると感じました。」アンケートの声、皆さんの研究的視点が深まっています。これからが本番です、次年度に向けて頑張りましょう。













#### 新規採用リフレッシュ研修

県立病院課&研修担当者 10月28日開催



4病院集合で、新規採用者リフレッシュ研修が開催されました。

午前中はストレスマネジメント(中央病院 公認心理師 平野美輪氏)・フィジカルストレスケア(中央病院鍼灸師 山見氏)。心と体のストレスケアを学びました。ストレスは常にある、不安と付き合う力、試行錯誤する力を伸ばすこと。睡眠、身体を整えるツボを教えて頂き、早速トライしました。午後は今治病院 菅美幸看護部長講話、各病院からの先輩看護職員の講話を聴きました。皆様の講話は新人にとって今後の看護師としての歩み方の参考となりました。ありがとうございました。5月に行った研修の振り返りを行いながら、「自分の病院で提供している看護の素晴らしいところ」「入職してから今まで自分が頑張ったところ」そして「決意表明の進行状況とこれからの取り組み」のグループディスカッションを行いました。多くの気づき・学びそしてこれからの決意がありました。















#### 人材育成Ⅱ~ファシリテーション~

「ファシリテーションとは」ファシリテーターは話し合いの当事者ではなく、話し合う前の準備から、話し合いの場面、そしてその後の実践や継続に繋がるフック(控える、興味を引く)のところまでのプロセスを支えていきます。その効果は、

- ①話すことで話した本人に気づきや発見があること
- ②お互いの意見を聞き合う事や、同じ時間を過ごすことで参加者同士がつながること
- ③話を聴いてもらえることや関心をもってもらうことでエンパワーされること(自信を持ち、自律した行動ができるようになる)こうして相互に承認しあえるような関係性が、協働するチームをつくります。「学び合い成長する」チームになります。今年は対面研修で、楽しくワクワク学ぶことができました。

「ファシリに自信が持てない看護管理者のための ファシリテーション再入門 著:浦山絵里」より







講師:浦山絵里氏



KP法(紙芝居プレゼン テーション) やってみた!



2. 研修の学びを実践に活かす!やってみた! 「ファシリテーション」 今治病院編



「透析室で運動療法を楽しく続ける方 法を考える」というテーマでKP法を実 践しました。

- ・「透析運動加算」算定を病棟で始める時期であり、時期やテーマの選定が 丁度適切でした。
- ・スタッフの思いや意見を集約できました。今後病棟で取り組んでいくための、現状把握や課題を見出すことが出来きました。
- ・参加者の反応は大変好評で、臨床 工学技士からの意見もあり参考となり ました。





2. 研修の学びを実践に活かす! やってみた! 「ファシリテーション」 中央病院編

役割を決める 対話をする 全員がしっかり聞く、 まとめる=合意形成











「高齢女性のストーマ増設」事例の関わりを振り返り、意思決定支援についてKP法で検討しました。私たちの関わりの倫理的ジレンマを看護倫理綱領の「善行・無危害・自律尊重」に照らし合わせ、私たちはどのようにすればよかったかなどを意見交換しました。がん看護専門看護師より一人で考えるのではなく他者の考えや意見も聞き判断していくことなどコメントもありました。ファシリテーション技法を活用することで短時間でも、活発な意見交換ができ、まとめることで合意形成できました。今後のケアに活かすことができそうです。他病棟でも学習会で「やってみた!」と連絡がありました。ぜひ活用し、その効果を実感してください。



3. 研修シート 最終評価「研修の学びの評価」

自分が立案した研修後の行動目標・行動計画の進行はい かがでしょうか?

令和5年1月31日・2月10日・2月24日が受講した研修シートの自己評価・他者評価のメ切日となっています。研修案内を確認ください。自己の目標管理シートに繋がる研修の学びと成果は大切です。1年間自分が取り組んで頑張ったこと・自身や周りの変化・次年度への課題などを評価し、他者評価(所属看護長)を受けましょう。







編集後記:

第8波コロナ感染拡大の中、合同研修活動にご協力・ご参加に、感謝いたします。研修前中後において研修生個々の感染対策への意識と行動が重要です。今後もよろしくお願いします。研修も「管理者育成研修」を残すのみとなりました。「組織を、倫理を共に考えましょう」(嶋屋順子)

愛媛県立病院看護職員 研修新聞 第18巻第3号

2022年 12月発行

連絡先:愛媛県立中央病院

合同研修担当看護長

嶋屋順子

電話:089-947-1111(代表)

Marine Plans